

- ☑️ がん専門病院として専門性の高い、安全な手術を行っています
胃癌、大腸癌、食道癌、膵癌、肝臓癌、胆道癌などの消化器癌のほか、**肉腫などの希少癌**の手術経験も豊富です
「世界で何例目」などの非常に希少な腫瘍の手術治療も多数施行しています
再発患者さんへの**転移病変切除、症状緩和手術**などにも積極的に取り組んでいます
- ☑️ すべての手術に、**日本外科学会専門医・指導医**が参加しており、
腹腔鏡手術には、**日本内視鏡外科学会技術認定医**が参加しています
- ☑️ 当院は進行例や巨大腫瘍の患者さんが多いですが、5大消化器癌の手術成績のすべてで、
全国平均(2013年**NCD全国調査結果**)よりも**低い周術期死亡率**を達成しております。
- ☑️ 実績と、実力から自信をもってがんに対する**最高の手術治療**を提供しております
あらゆる手術・いかなる状況においても**Best**な対応が可能です



2024年 スタッフ紹介

岡田尚樹 原田拓弥 竹元小乃美
チーフ 前田好章 サブチーフ 皆川のぞみ

Hot topic 1st

2024年. 手術用ロボットが**新型**

da Vinci Xi SURGICAL SYSTEM に更新されます

当科では、2015年からダビンチ **Si** を使用し、
大腸癌、胃癌にロボット手術を施行しています

直腸癌に**ロボット手術**を使用し、**高い肛門温存率**を実現しています

多関節血管鉗子による骨盤深部での操作性が非常に良く、下部直腸前壁の剥離が容易になり、**確実な切除マージンを確保した肛門温存手術**が可能になっています。



ロボット鉗子による
前立腺最深部からの直腸剥離

Hot topic 2

第29回北海道内視鏡外科研究会を
当科が主幹で、2024年5月18日に開催しました
159名の内視鏡外科医、パラメディカルが参加し、
内視鏡外科治療の熱い討論が行われました



チーフからのひとこと

癌を安全に切除するために・・・

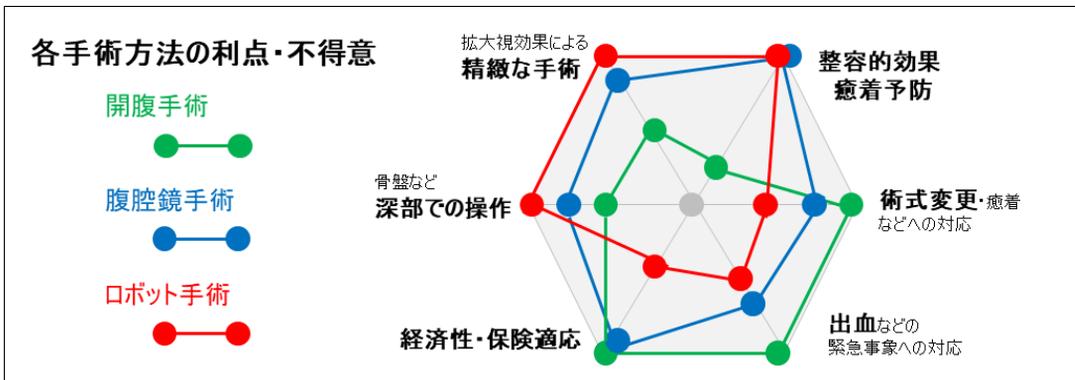
癌の状況(部位、大きさ、ステージ、癒着、など)によって、それぞれの患者さん毎に

開腹手術、腹腔鏡手術、ロボット手術から最適なものを選択しています

したがって、同じ病気で入院していても隣のベッドの患者さんと手術方法が違うことがあります。
理由を簡単に説明します。



腹腔鏡手術はただ単にキズを小さくする目的ではなく、**拡大視効果による手術精度の向上**に寄与
すると考えています。現在、大腸癌で95%以上、胃癌で約90%の方が腹腔鏡で手術を受けています
また直腸癌の90%、胃癌の一部ではロボット手術も行っています。なるべく多くの患者さんに腹腔鏡手術、
ロボット手術を行うようにしていますが、それぞれの方法には利点、不得意な点があります。



ロボット手術は、限られた範囲で決まった手術手順を高い精度で遂行することができますが、急な術式
変更や予期しない事象への対応は困難です。また保険適応もかなり限定されてます。

外科医の技術・機器の進歩により、かなりの手術が腹腔鏡で施行できるようになっていますが、
現在でも、大きな腫瘍や、複雑な再建を要する術式、手術部位、過去の手術歴などの条件により、
開腹手術を選択するのが良い(医学的に選択すべき)患者さんも多数おられます。

どの術式を選択するかは、術前カンファレンスで患者さん毎に詳細な検討のうえで最適なものを選択し、
担当医から説明いたします。御質問がある場合は、御遠慮なく担当医にお訊ねください。

開腹手術



腹腔鏡手術



ロボット手術

